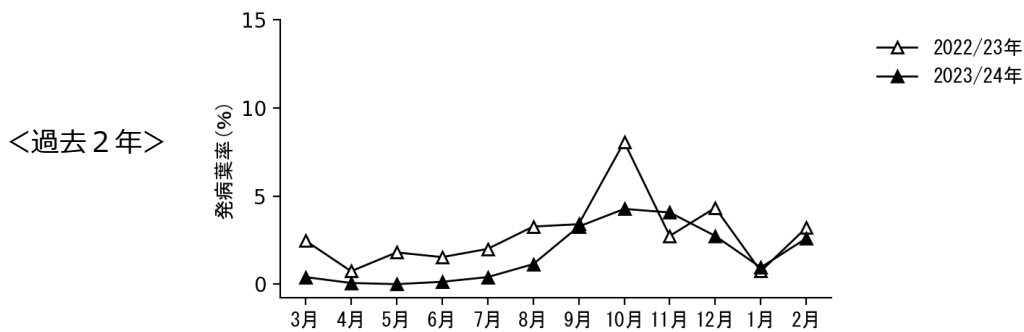
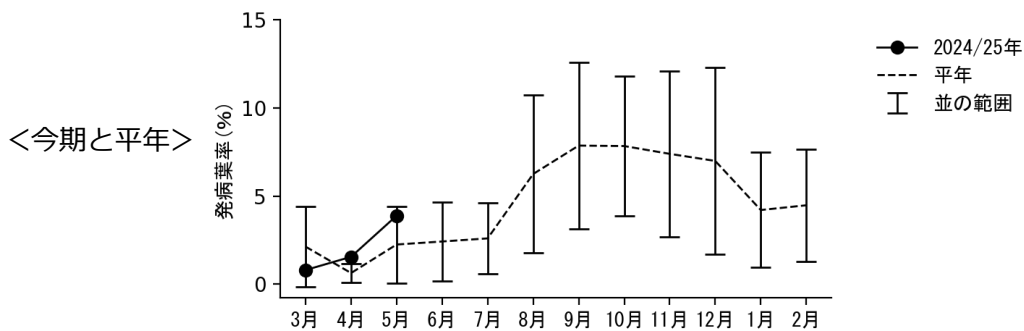


作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	5月の発生量（平年比）	並	
予報	5月からの増減傾向	→	
	6月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	



調査結果

発病葉率の推移




- ・ 葉の発病度0.8（平年0.8）
- ・ 発生ほ場率100%（平年：60.9%）

防除のポイント

- ・ 罹病枝などの病斑が伝染源となる。
- ・ 台風による葉や枝の傷口（風傷）、ミカンハモグリガの食害痕から本病が侵入する。
- ・ 台風前後に薬剤による予防散布およびミカンハモグリガの防除を徹底する。

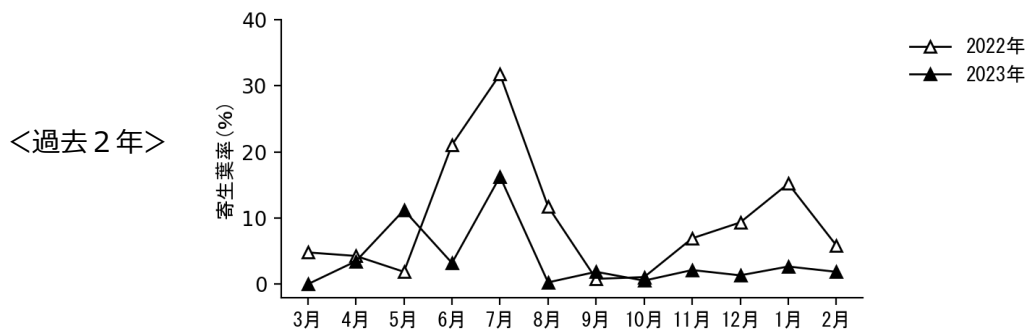
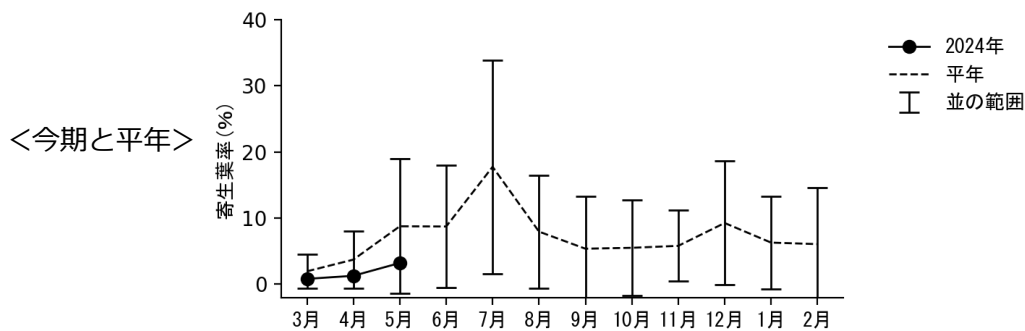


被害葉→

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハダニ類		
調査結果	5 月の発生量（平年比）	並	
予報	5 月からの増減傾向	→	
	6 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）	

調査結果

寄生葉率の推移



- ・発生種：ミカンハダニ
- ・発生ほ場率20.0%（平年：43.5%）

防除のポイント

- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状